

## 長岡税務署長賞

### 税金によって変わる私達の生活

長岡市立栖吉中学校

三年 相澤 真綾

私は、今まで税金についてあまり良いイメージを持っていなかった。納めた税金が様々なことに使われていることは分かっているが、納税はどうしても負担に感じてしまう。

ところが、税金が私たちの生活をよりよくするものだ気づいたきっかけがあった。約三年前、私の家の近くに遊歩道ができたことだ。それまでは雑草が沢山生えていたし、歩きにくい道だったため、人通りもあまり多くなかった。しかしこの遊歩道ができたら、人通りが多くなり、近所の方々の関わりが増えた。さらに、木が植えられたため見栄えもよくなり、街灯がつけられとても安全な場に変化した。また、コロナ禍にはこの遊歩道を散歩やランニングなどに使用する人を多く見かけた。このように沢山の人の生活を豊かにする遊歩道は税金によって作られていることを知った。

また、日本の医療制度も税金によって支えられている。先日、約四年間アメリカに住んでいた近所の方が帰国した。アメリカで

は、五歳の子がレントゲンを撮っただけで数万円かかったと言っていた。日本で五歳の子がレントゲンを撮ってもアメリカほど高額にならない。それは、日本では全ての国民が何らかの公的医療保険に加入する「国民皆保険制度」がとられており、医療費の一部が税金で賄われているからだ。一方、アメリカには国民皆保険が存在しないため、高額な医療費を払わなければならない。

この二つの例から、私は税金とは国民に負担を強いるだけのものではなく、国民の生活をよりよくするものであるということに気づいた。もし、納税制度が無かったら、国民にとって過ごしやすい環境は整えられない。医療費は全て自己負担しなければならず、救急車やごみ収集車などが有料になってしまう。つまり今無料で受けられる公共サービスの費用を全て自分で負担しなければならなくなるということだ。だから税金は全ての国民にとって必要不可欠なものだ。

最初に述べたように、私は今まで税金に対してメリットはないように感じていたが、周囲を見回すと、本当に沢山のことに税金が使われていて、私自身の生活も支えられていることが分かった。この先大人になるにつれ、私に関わる税金は当然今よりも多くなり負担に感じてしまうことがあるかもしれない。でも、それと同時に税金に支えられていることを感じる瞬間が沢山あると思う。だからこそ税金について理解を深めて、「納税」という形で社会に貢献していきたい。